

新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 Tel. 0569-26-4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

新美南吉 安城下宿八十周年にあたって

今年は南吉が安城の大見家に下宿を始めてから、ちょうど八十年です。南吉記念館ではこれを記念して特別展や関連行事、交流イベントなどを予定しています。

昭

和十三年、南吉は安城高等女学校(現県立安城高等学校)の正教員となりました。はじめは、半田から安城まで鉄道で通勤していましたが、時代は日中戦争の

さなか。交通事情の悪化により、県から「教員は学校のそばに下宿すべし」との通達を受け、昭和十四年四月、南吉は安城町字出郷(通称新田)の大見坂四郎方で下宿を始めます。



▶ 南吉が下宿していた部屋 (提供: アンフォーレ)

南吉の初

めての単行本『良寛物語 手毬と鉢の子』や、初めての童話集『おちいさんのランプ』、そして「花のき村と盗人たち」といった今に残る名作の数々は、この下宿時代に生み出されました。安城は、南吉が作家として軌道に



◀ 下宿部屋 (昭和四十年代)

乗り始め、夢を叶えた場所だと言えるでしょう。詩「工房」の中で、南吉は下宿のことを自身の「工房」にたとえ、「ああ私の来るのはここだった」と、愛着をのぞかせています。

その下宿は平成二十四年に大見家現当主の大見博昭さんによって、南吉が暮らしていた当時の形へ復元する改修が行われ、誰でも見学できるように公開されています。新美南吉安城下宿八十周年のこの年に、ぜひ、安城の地を歩いてみ

てはいかがでしょうか。記念館でも安城と南吉をテーマにした特別展を開催します。さらに、半田市と安城市の交流企画として、新美南吉記念館か南吉の下宿でガイドマップにスタンプを押して、安城市観光案内所(キーポート)に持っていくと、景品がプレゼントされますので、合わせてお楽しみください(令和二年三月三十一日まで)。

【関連行事予定】

特別展「日本^{デザイン}と南吉の暮らし」

(7月13日～10月27日)

※詳細は次頁へ

「南吉の詩」^{うた} 原画展示

(特別展と同時開催)

朗読詩集「安城で紡がれた南吉の詩」の挿絵原画を展示。

親子バス見学会

(10月14日)

南吉が暮らした安城の下宿先や街をめぐって、南吉のことをもっと知ろう。

デラック
日本丁抹と南吉の暮らし

安城は、明治期に開削された明治用水のおかげで急速に開墾が進んだ土地です。県立の農林学校や農事試験場など多くの農業施設

が設置されました。全国的に農産物の価格が低迷し、農家の経営が苦しくなったときでも、安城では産業組合をつくり農村を近代化していたことから発展を続け、「日本丁抹^{デマインク}」と呼ばれるようになりました。すると日本丁抹を参考にしようとして、全国から視察者が訪れるようになり、安城駅周辺には旅館や食堂が立ち並びました。

第一章 日本一抔の暮らし
第二章 青年教師の暮らし
第三章 新田の下宿の暮らし
第四章 都築弥厚から生まれたもの



南吉は安城に暮らし、安城ゆかりの童話や詩を創っています。詩「梨」には、安城を潤した明治用水が登場します。作品は未完成に終わったものの、明治用水の祖と言われる安城の偉人、都築^{つづき}弥^や厚^{こう}の伝記執筆にも取り組んだことが日記やメモから分かります。南吉は、この地でのような影響を受け、どのような作品を書いたのか。主に暮らしの側面から探ります。

会期は七月十三日（土）から十月二十七日（日）まで。安城市歴史博物館が所蔵する南吉直筆のメモが書き込まれた本なども展示します。是非ご覧ください。

正ち八はちちゃんちゃんの端午端午の節句節句 開催

今年も五月四日（祝・土）、五日（祝・日）にかけて、「正
八ちゃん（南吉の本名）の端午の節句」を開催しました。

四日は南吉作品に親しむイベントとして、「南吉ジャンボかるた」と「南吉童謡とお手玉遊び」を行いました。ジャンボかるたは、足を使って取り合う大きなかるたです。お手玉と同じく、初めてふれるという子どもたちも多かったのではないのでしょうか。

続く五日は、「紙でできた本物そっくりのよいを着てみよう」と「石川恵深えみの南吉ワールド」を開催しました。紙よろいの試着体験には大人から子どもまで様々な年代の方が参加されて、青空の下、芝生広場を歩き回っていました。



さらに、両日を通してイラストレーターの山本正子さんが来館され、企画展会場でギャラリートークと似顔絵描きを行ってくれました。山本さんはライフワークとして南吉作品を描かれてきた方で、新美南吉童話賞入選作品集『赤いろうそく』の挿絵も担当されています。ギャラリートークではその挿絵についての解説や、絵本『手袋を買いに』の制作秘話などを話していただき、訪れた方が足を止めて聴き入っていました。また、似顔絵サービスもほとんどの回が定員になるほどの人気で、似顔絵を受け取ると、皆さんが思わずほ笑みを浮かべられていたのが印象的でした。

今年は改元による十連休ということもあり、「端午の節句」イベント前から連日大変な賑わいでした。ぜひとも、この勢いを今年度以降にも繋げていければと思います。

田んぼアート田植え

五月二十六日(日)、記

念館の北を流れる矢勝川沿いの田んぼで、田んぼアートの田植えがありました。

この田んぼアートは五年前から、NPO法人「ごんふるさとネットワーク」に参加している「おいしい村」(農産物生産販売)の代表、末松園子さんが中心になって行っているものです。当日は朝から、田植えを楽しみにしていた子どもたちや半田農業高校の生徒さんたち、地元の方々が集まって、苗を手作業で植えていきました。

今回の絵柄は南吉の「牛をつないだ樁の木」で、秋の彼岸頃、彼岸花と一緒に見頃を迎える予定です。



記念館からのお知らせ

夏休み「ごんぎつね」教室

バスで「ごんぎつね」の舞台を訪ねたり、火縄銃などの物語に登場する道具をさわるができます。



日時 8月3日(土)

9時~14時15分

場所 記念館とゆかりの地

対象 3年生以上の小学生とその保護者

定員 30名(申込み順)

持ち物 筆記用具、弁当、水筒、カメラ

参加費 子ども300円、大人510円(南吉の養家・記念館観覧料)

申込み 7月6日(土) 9時30分から電話か窓口まで

ウグイス笛を作ろう

「良寛物語 手毬と鉢の

子」などに登場するウグイス笛を作ります。

日時 8月12日(祝・月)

13時30分~15時30分

場所 記念館工作室

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

協力 南吉案内人

子」などに登場するウグイス

ス笛を作ります。

日時 8月12日(祝・月)

13時30分~15時30分

場所 記念館工作室

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

協力 南吉案内人

参加費 300円(1個)

※申込み不要、混雑時はお待ち頂くことがあります

火打石・石臼体験

南吉の作品に登場する昔の道具を体験できます。

日時 8月13日(火)

13時30分~15時30分

場所 記念館工作室

対象 どなたでも(火打石は保護者同伴)

協力 南吉案内人



ミュージアムトーク

学芸員による特別展解説。

日時 7月15日(祝・月)、

20日(土)、27日(土)、30日

(火)、8月10日(土)、25日(日)

13時30分~14時

※7月27日、30日以外の回は展示室観覧料が必要です

以上の行事へのお問い合わせは新美南吉記念館まで

TEL 0569(26)4888

日誌抄・

四月(卯月)

▼7日 中日新聞知多版「知多半島宝モノ語り」で記念館の研究紀要が取り上げられる▼13日 「南吉祭」開催。岩滑地区の山車二輛が集う。於記念館駐車場▼13日、14日 岩滑八幡社祭礼▼21日 「榊原澄香ペーパーアート展」終了。会期中来場者数6689人▼25日 十六銀行半田支店職員8名が記念館で除草奉仕作業▼27日 「山本正子心の南吉を描く」『手ぶくろを買いに』絵本原画展」

始まる(6月30日)▼28日 第165回新美南吉読書会開催。22名参加▼同日 中山家甲冑展示始まる(5月6日)

五月(皐月)

▼3日 中日新聞が上皇后美智子様のニューデリーでの講演録を連続掲載。初回に「でんでんむしのかなしみ」全文が紹介される▼4日、5日 「正八ちゃんの端午の節句」開催。両日来場者数1147人▼12日 ガイドボランティア例会▼14日 NHK名古屋「さらさらサラダ」で、美智子皇后退位に伴い「でんでんむしのかなしみ」が注目されていることが紹介される▼26日 童話創作講座第1回開催。11名参加▼同日 田んぼアート田植え▼同日 第166回新美南吉読書会開催。19名参加▼29日 新美南吉顕彰会理事会

7月の休館日

1日(月)、8日(月)、

9日(火)、16日(火)、

22日(月)

8月の休館日

5日(月)、19日(月)、

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

26日(月)

新美南吉誕生祭

7月27日～30日

(期間中入館無料)

7月30日、南吉さんは106回目の誕生日を迎えます。

※お問い合わせは新美南吉記念館まで。

TEL 0569 (26) 4888

7月27日(土)

【昼のイベント】

AM I 南吉を歌う

「お誕生日を祝って」

南吉の詩にオリジナル曲をつ

けた南吉童謡を奏でます。

時間 10時30分～11時30分

場所 記念館図書室

出演 AM I

ミュージアムトーク

学芸員が特別展を解説します。

時間 13時30分～14時

※展示室にお集まりください。

サヤ佳のおはなし会

南吉の童話「草」や詩「百姓

家」などを朗読します。

時間 14時～14時45分

場所 記念館図書室

出演 ストリーテラー
語人サヤ佳

【夜のイベント】

「正八ちゃんの宵祭り」

※新美南吉記念館は20時まで延

長オープンします。

お囃子の演奏

時間 18時～18時20分

演奏 岩滑山車保存会、岩滑新

田平井組、岩滑新田奥組

盆踊り

南吉も踊った岩滑盆唄「シヨ

ンガイナ」を踊ります。参加

者にはアイスクランダーの振舞

いもあります(数限定)。

時間 18時30分～20時

協力 岩滑盆踊唄保存会



フェイスペイントサービス

狐の耳飾りとフェイスペイン

トの無料サービスをします(先

着150名まで)。

時間 17時30分～19時

出店・縁日コーナー

浴衣で来場された方には記念

館から水風船が射的の一回券を

プレゼント(先着200名まで)。

時間 17時30分～20時

7月28日(日)

【あつまろう】

みんなの南吉まつり」

南吉童話の読み聞かせや人形

劇など楽しい行事がいっぱい!

読み聞かせ人形劇

時間 10時30分～11時20分

場所 記念館図書室

出演 ランプの会、

板山万歳保存会

大型紙芝居

時間 11時20分～12時

場所 記念館図書室

出演 南吉童話お話の会

でんでんむし

歌とお話の会

時間 13時30分～14時

場所 記念館図書室

出演 左近治樹、左近玲子、

小野敬子

7月29日(月)

人形劇・腹話術

時間 13時30分～14時

場所 記念館図書室

出演 よろず劇場とんがらし

ウグイス笛づくり

「良寛物語 手

毬と鉢の子」など

に出てくるウグイ

ス笛を作ります。

時間 14時～16時

場所 記念館工作室

参加費 300円(1個)

※小学生以下は保護者同伴



7月30日(火)

【南吉さんの日】式典

時間 10時30分～11時20分

内容 朗読、特製バスデー寿

司ケーキ披露、合唱、献花、山

桃ジュースの振舞い

出演・協力 大見夫妻(南吉下

宿先大家)、半田中学校合唱部、

真砂本店



貝殻笛づくり

南吉の詩「貝殻」に詠われた

貝殻笛を作ります。

時間 11時30分～13時30分

協力 南吉案内人

全日開催のイベント

南吉クイズ

問題用紙を受け取って回答し

よう。全問正解でプレゼントも

あります(各日先着100名)。

時間 9時30分～17時

対象 中学生以下